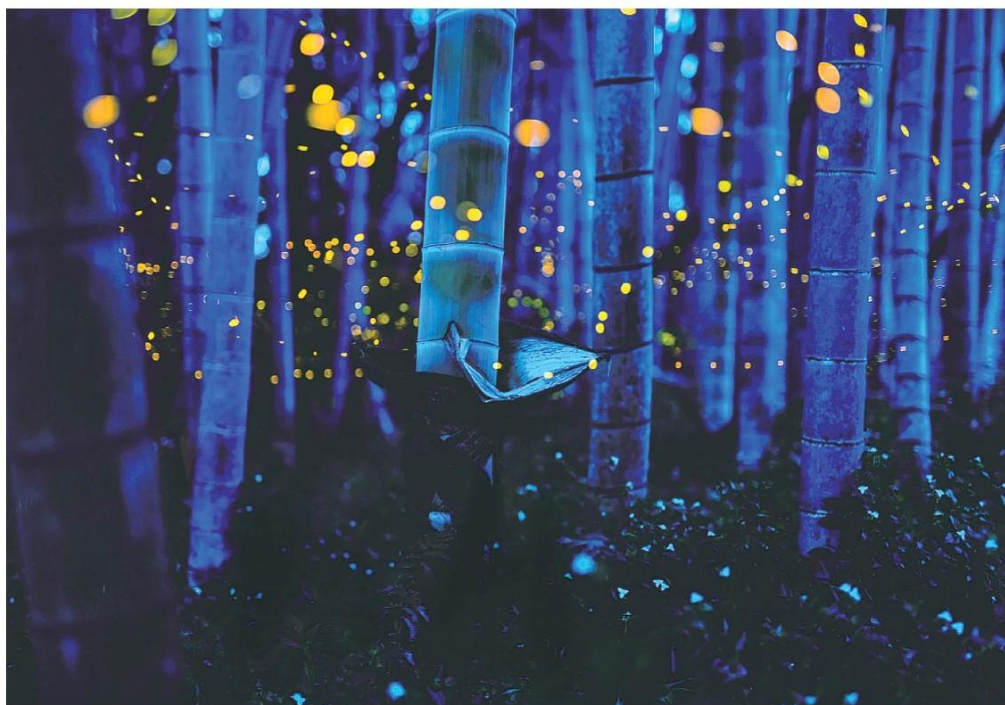


写真

## 「青竹の精」

森岡 嗣郎(高知市)



もりおか・つぐお  
1958年高知市生まれ。初特選。

う。

9年前に一眼レフカメラを購入したのがきっかけで写真に夢中になった。休日のほか、魚の仲卸の仕事が終わると、午後から撮影に向かうこともしばしば。星空や花火、だるま夕日など高知の自然を撮ることで、独学で技術を磨いてきた。

「人間の目では見えない美しい風景が切り取れて、作品になるから面白い」

「面白」  
カメラを通して楽しむ

青い竹林の中で、黄色の光を放つホタルが舞い、白いツユクサが地面に散りばめられている。まるで精霊が漂っているかのような幻想的な写真に仕上がった。

昨年5月末の夜、県中部の竹林で約1時間撮影した。複数枚の写真を重ね合わせる技法

## 自然との静かな対話

を使ってヒメボタルの光をたくさん入れ込み、色調を変えて青い幽玄の雰囲気を出した。初めて撮影する場所を膨らませたとい

初めて撮影する場所を膨らませたとい

(楠瀬慶太)